

村の仕事は、みなさんの生活と密接に結びついています。それだけに、一円たりともムダにできません。村では毎年、限られた財源の中で、「夢とやすらぎのある村づくり」「岩室村に住んで本当によかった」といわれる活力のある地域づくりに努力しています。

今回お知らせするのは、昭和六十二年（六十二年四月～六十三年三月）の決算です。これは、みなさんの暮らしに直接かわった村の家計簿の総集計です。

なお、この決算は昨年の十二月定例村議会で審議され承認を受けました。

昭和六十二年度は生涯教育・生涯学習をはじめとする魅力ある村づくりへの基盤整備とともに、個性的な政策をすべての面できめ細かく配し、厳しい財政環境のなかでも村勢に活力を与える村政運営を行いました。

その結果、一般会計は、凶のよくな決算額になりました。歳出支出（決算額では、前年度（六十一年度）に比べて約二億三百三十四万円の減となりました。これは、明日の子供たちのため、六十一年度に改築を終えた和納保育園の建設事業費の差によることが主原因です。

人件費が全体の約三割

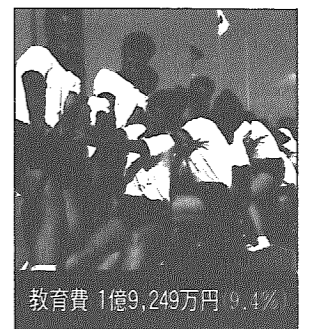
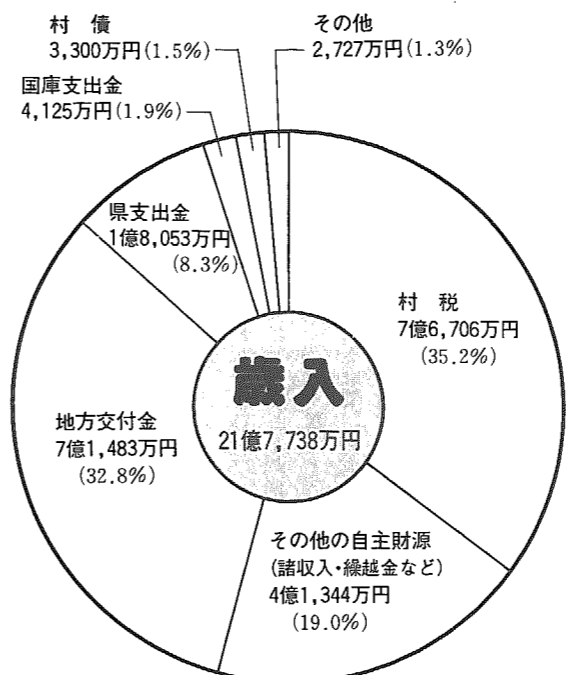
歳出を目的別にみると、和納保育園の改築を終えた民生費が四六五%（二億四千六百七万円）の大幅な減の一方、農道整備や自然休養村事業を進めた農林水産業費が一七・八%（五千四百六十六万円）、村長選挙や村議選挙のあった年を反映して総務費が一・九%（二千八百一十一万円）そして、積極的な健康づくりに努めた衛生費が八%（一千三百三十八万円）の増となりました。

さらに性別別みると、人件費（職員給与や議員報酬など）が約三千万円増えて六億一千万円で全体の二九・六%を占めています。以下、普通建設費（四億二千九百万円）、物件費（各施設の光熱水費や総合検診などの住民健康診断費など）（二億五千三百万円）、補助費（消防や衛生組合（ごみ・し尿）の負担金や老人クラブなど各種団体の助成金など）（二億四千四百万円）が主なものです。

努力が実り健全運営に

こうして六十二年度も、村民のみなさんが必要とされる分野には積極的に取り組む一方、限られた財源の効率的な使い方をした結果、収支状況では、一億一千八百八十二万円の黒字となり、健全な財政運営を進めることができました。

歳入総額 21億7,738万円
 歳出総額 20億5,856万円
 差引(黒字) 1億1,882万円

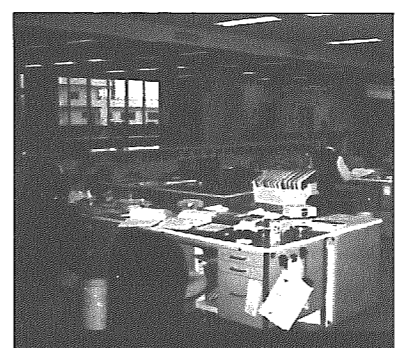


教育費 1億9,249万円 (9.4%)
 ■奨学金貸付 306万円 ■生涯教育推進事業 125万円

商工費 1億3,357万円 (6.5%)
 ■産業育成資金の貸付 4,000万円 ■観光施設などの整備 2,214万円

歳出

■印の項目はおもな事業費です。



総務費 2億4,628万円 (12.0%)
 ■各種団体などの助成 708万円 ■通学路防犯灯設置 400万円 ■交通安全施設整備 681万円 ■広報 265万円



その他 3億971万円 (14.9%)
 ■消防費 1億 944万円 ■諸支出金（義務教育施設整備基金などの積立金） 1億 3,083万円 ■議会費 6,767万円 ■災害復旧 175万円

一万村民の家計簿

一般会計決算

昭和62年度

村税の内訳(収入)

村民一人当たり 75,826円
 (63年3月末の人口で計算)

村たばこ消費税 4,683万円 (6.1%)
 (村税合計 7億6,706万円)

入湯税 2,321万円 (3.0%)

固定資産税 3億7,661万円 (49.1%)

村民税 2億7,642万円 (36.0%)

電気税 3,283万円 (4.3%)

その他(軽自動車税・ガス税など) 1,116万円 (1.5%)



農林水産業費 3億3,360万円 (15.2%)
 ■農村総合モデル事業 7,083万円 ■農道整備 2,702万円 ■林道などの整備 2,754万円 ■間瀬漁港整備 752万円 ■自治宝くじ一般コミュニティ助成事業(西船越地区) 150万円 ■丸小山野外緑地広場整備 100万円

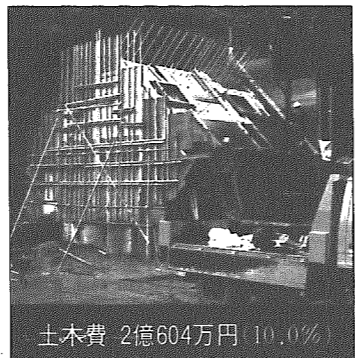
公債費 2億97万円 (9.8%)
 ▶ 村の借入金返済

■主な借入先——大蔵省資金運用部・国民年金資金・簡易郵便局・公営企業金融公庫・銀行など(62年3月末の借入額は13億 6,530万円になっています)

衛生費 1億5,223万円 (7.4%)
 ■総合検診など成人病対策 1,250万円 ■こみ対策 2,050万円



民生費 2億8,367万円 (13.8%)
 ■老人憩いの家整備 1,137万円 ■老人クラブなど各種団体助成 463万円 ■児童遊園地整備 114万円



土木費 2億604万円 (10.0%)
 ■村道の整備(舗装や改良など) 1億 1,794万円 ■河川の整備など 1,120万円 ■除雪 479万円

特別会計決算

昭和62年度

国民健康保険	歳入 5億2,625万円	歳出 4億6,175万円	差引 6,450万円
保老健人	歳入 4億6,614万円	歳出 4億6,012万円	差引 602万円
温泉集中加熱事業	歳入 5,055万円	歳出 3,305万円	差引 1,750万円
取土地	歳入 419万円	歳出 0万円	差引 419万円

■特別会計の中で、水道事業会計と農業共済会計については、会計が複雑なため、2月号でお知らせいたします。